

## 第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	アスク大和保育園（4回目受審）
経営主体(法人等)	株式会社 日本保育サービス
対象サービス	児童分野 認可保育所
事業所住所等	〒242-0021 神奈川県大和市中央1-4-19 2F
設立年月日	平成22年10月1日
評価実施期間	平成26年10月～27年3月
公表年月	平成27年 4月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）	
<p><b>施設の概要・特徴</b></p> <p><b>【立地】</b> アスク大和保育園は相鉄線、小田急線大和駅から徒歩5分、2階建て商業ビルの2階にあります。園庭、ベランダはありませんが、近隣に、やまと公園、中央一号公園など、大小さまざまな公園があり、日常的に散歩や外遊びに利用し、季節感を楽しんでいます。</p> <p><b>【概要】</b> 平成22年10月開園の0～2歳児対象（定員60名、現在籍62名）の認可保育園です。地域子育て支援サービスとして一時保育を行っています。</p> <p><b>【特徴】</b> 設置法人から派遣される専任講師による英語教室、体操教室、リトミックを行っています。</p> <p><b>【特にすぐれていると思われる点】</b></p> <p>1. 遊びの工夫で楽しい園生活</p> <p>①園外活動 園庭がないため、目的や子どもの発達段階に応じて公園を選び、近隣の散歩道（プロムナード）を利用するなど積極的に園外活動を行っています。気候が良いときには、1日2回散歩に出かけることもあります。散歩途中や公園では、地域の人とふれあい、季節の植物や昆虫などの観察をして、自然に親しむ機会を持っています。</p> <p>②園内活動 園内では、保育環境も見直しながら、子どもの興味を引き出せるように、子どもの手が届く高さの棚に絵本や音の出るおもちゃ、パズル、ままごとセット、ミニカーなどの玩具を置き、子どもが主体的に活動できるように配慮しています。</p> <p>また、絵本を読んだり、製作などの静かな遊びと自動車を使った動きのある遊びの場を保育室内で分けて、子どもが落ち着いて遊べるようにしています。さらに、全身を使って安全に楽しく遊べるように、年齢に応じてマットのトンネルを這い這いでくぐり抜けたり、マットの山を上り下りしたり、巧技台（すべり台、平均台を複合した遊具）を使って体を動かすよう工夫しています。</p> <p>利用者家族アンケートの「クラスの活動や遊び」「戸外活動を十分しているか」「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動」「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」の項目について、保護者から高い評価を得ています。</p> <p><b>【特に改善や工夫などを期待したい点】</b></p>	

### 1 打ち合わせ・クラス会議についての情報共有

0～2歳児まで62名が在籍しており、各クラスとも複数担任となっています。また非常勤職員も多く勤務しており、子どもの状況や様子、気づいた点を話し合ったり、連絡事項の徹底のため、毎日の昼礼や、頻繁にクラス担任間での打ち合わせを行っています。日常の打ち合わせであっても、職員間でいつでも内容を確認し共有できるような、わかりやすい工夫が期待されます。

### 2 保護者の苦情・要望などについての記録と分析

保護者からの苦情などは「クレーム受理票」に残すことになっていますが、今年度の事例記入はありません。日常寄せられる保護者からの質問、要望や、一時保育での相談などは口頭や連絡ノートなどで迅速に返答されています。重要な案件でなくても、記録を残し、データ化して分析をし、意見・要望に対する傾向を知り、解決に生かすことが期待されます。

### 3 子どもへの対応の振り返りを

子どもの気持ちを受けとめる保育については、職員会議で話題にしたり、園長が指導を行っていますが、さらに、言葉づかいや態度などについて、職員間での話し合いや、日々の保育の振り返りを積み重ねることが期待されます。

## 評価領域ごとの特記事項

### 1.人権の尊重

・設置法人の統一運営理念は「安心・安全を第一に」「いつまでも思い出に残る保育を」「ニーズに合った保育サービスを」「職員が楽しく働けること」、保育の基本方針は「子どもの自ら伸びようとする力、後伸びする力、五感で感じる保育の充実を目指す」とし、園目標を「すくすく元気にみんな仲良し」として、子どもを尊重したものとなっています。

・「子どもの声を聞く保育」を目指しており、子どもの要求や訴えに耳を傾け、子どもの気持ちを受け止めて年齢や発達に合わせて、わかりやすい言葉で穏やかに話をするようにしています。

・守秘義務の意義や目的については、入職時に研修を受けるほかに、職員会議や昼礼で話し合っています。

・保護者に対しては入園時に個人情報管理規程に関する説明をしています。保護者にホームページに掲載する子どもの写真については了解を得、またほかの子どもの写真をホームページにアップしたりネットで配信しないように入園時および進級時に説明し、保護者から承諾書を提出してもらっています。

### 2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

・保育課程は保育理念に基づき、子どもの最善の利益を第一義に作成しています。保育課程をもとに、3歳以上児も含め、年齢ごとに年間指導計画・月間指導計画・週案を作成しています。指導計画の見直しは職員間で意見交換を行うとともに、送迎時での会話やクラス懇談会、個人面談、行事アンケート、保育連絡ノートなどで保護者の意向を確認し、改訂に反映させています。

・保育室内は年齢、発達に応じ、伝い歩きやつかまり立ちが出来るように低い棚が用意されていたり、遊びの内容により、コーナーを作り小集団で遊べるようにし、動きのある遊び、製作など静かな遊びを楽しめるようにしています。また、棚、衝立などで仕切り、食事、午睡、遊びの場所を分けています。

・月ごとに0～2歳児全員の個別指導計画を作成しています。幼児についても特別な課題がある場合には、個別計画を作成することになっています。個別の目標・計画はクラス担任で話し合い、毎月の評価・反省時に見直すほかに、月に

1回の職員会議で子どもの発達状況や様子を話し合い、柔軟に計画を見直し・変更を行っています。

・子ども一人一人が興味や関心を持って遊べるように、年齢・発達に応じて室内環境を整え、子どもの手が届く高さの棚に絵本や玩具を用意しており、職員は一緒に遊びに入りながら、子どもの様子に気を配りながら言葉かけをしています。また、遊びの中で社会性が自然に身に付くように、簡単なルールをわかりやすく話したり、友だち同士のやりとりの援助をしています。

・食事は、行事食や季節感のある献立、楽しい盛り付けを工夫しています。一人一人の様子に合わせて盛り付けの量を調節して、完食の喜びを味わえるようにしています。苦手なものでも、少しでも食べられたら、誉めて自信が持てるようにしています。離乳食期は「いろいろな食べ物を見て触って味わう経験を通じて自ら進んで食べようとする」ことを保育課程に掲げ、野菜スティックを握るなど手づかみの体験やトウモロコシの皮むきなどを通じて食べる意欲を育てています。

・地域の施設利用や交流については、泉の森公園への散歩の途中で厚木飛行場を遠望したり、トンネルを出入りする相鉄電車を見たり、大和消防署に立ち寄って消防自動車の見学をさせてもらったりしています。大和市立草柳保育園の園庭開放に参加したり、人形劇を一緒に見たり、系列園の保育園のプール遊びに参加するなどして、子どもたちの交流を図っています。

・ならし保育については入園前説明会および面談で保護者に説明しています。保護者の都合にも配慮しながら、特に0歳児については、保護者と一緒に保育園で過ごす時間を十分とるようにしています。

・入園時に保護者から提出される大和市所定の「児童票」、面談時の「面談シート」「健康調査票」とともに、個人別のファイルにしています。入園後の身長体重の記録、健診結果は「健康記録票」に記載し、クラスごとにファイルを作っています。個人別ファイル、健康ファイルなどの記録簿は事務室の施錠できる書棚に保管しており、全職員は必要時に確認できるようになっています。

・食物アレルギー、発達の遅れなどの配慮が必要なケースについては、職員会議で報告・検討が行われ、職員会議録に個別のケース記録を残しています。また昼礼などでもその都度、子どもの状況を伝えあうようにしています。

・虐待防止マニュアルがあります。職員は設置法人の研修を受講しています。非常勤職員には園長が機会を設けて説明し、虐待の定義について周知しています。虐待が明白になった場合や疑わしい場合には、設置法人本部、大和市保育家庭課、神奈川県中央児童相談所に通告・相談する体制になっています。さらに日常の保育の中で、子どもの心身の状態や保護者の様子に気を配り、こまめに声掛けをし、話しやすい雰囲気を作るように努め、虐待予防に配慮しています。

・苦情受け付けの仕組みについては「入園のしおり」に、第三者委員の氏名、連絡先及び、設置法人苦情窓口の案内を記載しています。園内には苦情解決体制や設置法人の苦情相談窓口、第三者委員の連絡先を掲示し、入園説明会でも保護者に説明しています。各行事後アンケート結果や保護者意見への対応については、園内に掲示し、保護者に伝えていきます。日常寄せられる意見・要望な

### 3.サービスマネジメントシステムの確立

	<p>ども記録しデータとして、蓄積して、解決に活かして行くことが期待されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理・衛生管理・安全管理に関する各マニュアルを整備し、マニュアルに基づいた対応や訓練を行っています。</li> </ul>
<p>4.地域との交流・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育を提供しており約70名が登録し、常時利用者が5、6名います。利用は予約受けのほかに、緊急性のある場合はいつでも受け入れています。食事、睡眠は「一時保育室」で過ごし、活動は各年齢のクラスに入っています。</li> <li>・園長が大和市の園長会議に年2回出席し、情報交換しています。また年1回開催される「やまと子育て応援フェスタ」の事前打ち合わせに園長が3回程度出席し、情報交換をしています。</li> <li>・やまと公園でドライブごっこ、パネルシアター、絵本の読み聞かせ、シャボン玉遊びなどを行う「ぼかぼか広場」を開催し地域の親子が参加しています。地域の親子を土曜日に園に招待する「わくわく広場」の企画をしています。</li> <li>・大和市主催の「やまと子育て応援フェスタ」に参加し、園紹介のパネルを展示しています。</li> <li>・園の利用条件やサービス内容に関する問い合わせは常時受け付けており、園長、主任が園のパンフレットに基づいて詳細に説明をしています。</li> <li>・地域の子育て支援ニーズについての職員間での話し合いや、「相談日」や「わくわく広場」についての広報などに不十分な面が見られます。今後、職員間での話し合いや、園外に向けて積極的に情報の提供・発信をすることが望まれます。</li> </ul>
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大和市主催の「やまと子育て応援フェスタ」に園紹介のパネルを展示したり、大和市子育て支援センターや大和市保健福祉センターに当園のパンフレットを置いたり、設置法人のホームページや「子育て支援情報サービスかながわ」のホームページに園の情報を掲載しています。</li> <li>・業務マニュアルの「就業規則」で職員の守るべき倫理・服務規程を明文化し全職員に周知しています。入社時には全職員が研修を受けています。設置法人にコンプライアンス委員会が設置されており、直接連絡できる仕組みがあり、連絡先は事務所及び職員更衣室に掲示してあります。</li> <li>・設置法人のホームページ上に決算書、運営状況を公開しています。</li> <li>・理念・基本方針を事務室に掲示しています。園目標を玄関に掲示しています。園長は一年に一度職員会議で理念や基本方針に基づいた保育が実践されているか話をしてはいますが、全職員に周知するには十分ではありません。理念・基本方針を全職員に周知し、確認する機会を得ることが期待されます。</li> <li>・保護者への「行事後アンケート」実施、クラス懇談会、保育連絡ノートのやりとりなどで、保護者の意見や要望の把握、意見交換を行っています。</li> <li>・事業運営に影響のある情報は設置法人で収集、分析しています。園長は設置法人の園長会議や大和市の行政機関から情報収集し、職員会議で報告や検討を</li> </ul>



	<p>行っています。園の「平成26～28年度の中長期計画」を作成しています。</p>
<p>6.職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験年数に応じ階層ごとに人材の育成を目標に、社内研修を充実させています。年に2回実施の「自己査定シート」は新人、中堅、主任、園長などに応じた書式で、人材育成計画を反映させたものとなっています。職員は毎回、自己目標を立て、実践や達成度を自己査定するとともに、園長との面談時に評価、アドバイスを受け次期に反映させています。</li> <li>・設置法人は年間研修計画を作成し、職員は「個人別年間研修計画」を立て研修に参加しています。内部研修として、感染症、衛生、アレルギーなどをテーマに行い、非常勤職員も積極的に参加しています。</li> <li>・年間指導計画・月案・週案にはそれぞれ評価反省の記入欄があり、子どもの育ちや意欲、活動に取り組む過程を重視して、振り返りを行うように心がけています。場合により園長が書き方や視点を助言・指導しています。</li> <li>・「自己査定票」に、経験・能力に応じた期待水準が明文化されています。また園の「職務分担表」に、それぞれの役割が明示されています。各職務やクラス運営について現場の職員に権限の委譲をし、最終責任は園長が負うことになっています。</li> <li>・職員からは職員会議、年2回園長との面談、昼礼などで改善提案を募るほかに、日常的な会話からも意見を募っています。また常日頃から話がしやすいようにしています。非常勤職員とは、日常業務の中から要望など聞き取るようにしています。</li> </ul>

## 評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

### 評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人の運営理念は「安心・安全を第一に」「いつまでも思い出に残る保育を」「ニーズに合った保育サービスを」「職員が楽しく働けること」、保育の基本方針は「子どもの自ら伸びようとする力、後伸びする力、五感で感じる保育の充実を目指す」とし、園目標を「すくすく元気にみんな仲良し」として、子どもを尊重したものとなっています。</li> <li>・運営理念は事務室に、園目標は玄関に掲示してあります。職員は入社時に、設置法人の研修で基本方針を学び、入社後は職員会議や、日常業務の打ち合わせ（クラス会議・昼礼）などで全職員が確認しあっています。</li> <li>・保育課程は年度末に、職員がクラスごとに見直し、来年度に向けて修正などを行い、年度初めに再度確認して作成していますが地域の実態・環境などを把握して、反映させた内容は記載されていません。また、おおむね2歳までの記載のみとなっています。</li> <li>・保育課程に基づいた指導計画やねらいなどは入園前説明会、入園進級を祝う会、年度初めのクラス懇談会で保護者に説明しています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実態や保護者の就労状況などを充分把握されていますので、保育課程に反映させることが期待されます。保育課程は全体的な計画であることから、在籍しているおおむね3歳についての記載が望まれます。</li> </ul>
<p><b>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とは入園前に、園長・主任・クラスリーダーが分担して一対一で面接しています。必要に応じ栄養士も同席しています。子どもも一緒に来園し、保護者との関わり方や子どもの様子も見ながら「入園前面談シート」に記入しています。面談前に保護者が記入済みの大和市所定の「児童票」と、面談時に聞き取った「入園前面談シート」をもとに、生育歴・健康状態・家庭状況などを把握しています。</li> <li>・ならし保育については入園前説明会および面談で保護者に説明しています。保護者の都合にも配慮しながら、特に0歳児については、保護者と一緒に保育園で過ごす時間を十分とるようにしています。</li> <li>・0、1歳の新入園時について、オムツ替え、授乳、児童票記入などの、担当保育者が決まっています。非常勤の職員もシフト調整などで、同じ職員が関わられるよう配慮しています。</li> <li>・個別の「保育連絡ノート」で毎日子どもの様子を伝えています。0歳児は時系列で睡眠・排泄・食事について記述できるようになっています。</li> <li>・年間指導計画は4期にわけ、月間指導計画は1か月ごとにクラス担任間で話し合い作成、見直しをして子どもの発達や状況に応じて次の計画につなげています。</li> <li>・指導計画の見直し、改訂については担任間で話し合った後、職員会議で説明し、意見交換をしています。</li> </ul>

### I-3 快適な施設環境の確保



- ・清掃マニュアルに沿って、清掃が行われており、チェック表で管理し清潔に保っています。各保育室に24時間換気システム、空気清浄機、加湿器があり、適宜窓を開放して空気の入替えをしています。消臭・調湿効果壁材を使用しています。また0歳児クラスには床暖房があります。
- ・各保育室は独立しており、音楽や保育者の声が活動の妨げになるようなことはありません。
- ・保育室を棚、衝立などで仕切り、食事、午睡、遊びの場所を分けています。各クラスにより低い棚など、つかまり立ちが出来るようにしたり、衝立、机、棚を利用してコーナーを作り小集団で遊べるようにしています。
- ・温水シャワー付き沐浴設備があります。おむつかぶれや汗をかいた後、夏場の水遊び後に、沐浴やシャワーで清潔を保っています。使用后すぐに清掃するほか、「衛生マニュアル」に沿って、管理・清掃を行っています。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ・3歳未満児は月ごとに個別指導計画を作成しています。幼児についても特別な課題がある場合には、個別計画を作成しています。
- ・個別の目標・計画はクラス担任で話し合い、毎月の評価反省時に見直すほかに、月に1回の職員会議で子どもの発達状況や様子を話し合い、柔軟に計画を見直し・変更を行っています。
- ・入園時に保護者から提出される「児童票」は大和市所定のものになっています。面談時の「面談シート」「健康調査票」とともに、個人別ファイルにしています。入園後の子どもの成長については毎月の身長・体重測定の記録や健診結果などを「健康記録票」に記載しています。「健康記録票」はクラスごとにファイルしています。発達の記録については0、1歳児は毎月、2歳児は2か月に一度、文章にまとめ、「児童票」のファイルにとじ込んでいます。
- ・進級時に、「児童票」をもとに、クラス担任と次年度担当職員間で数日かけて引継ぎをしています。

**I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み**



- ・配慮が必要な子どもについては、職員会議で報告・検討が行われ、職員会議録に個別のケース記録を残しています。
- ・子どもの発達に合わせた関わり方や、発達支援の考え方、アレルギー疾患などの研修を受講し、研修結果を職員会議で報告・回覧するほか、クラス会議、昼礼などでも話し合って保育に活かしています。
- ・食物アレルギーについてはかかりつけ医の診断書の指示に従い、保護者と栄養士が定期的に面談し、状況確認をして除去食を提供しています。毎日の献立に沿ったアレルギー一覧表を1日ごとに作成し、担当職員が確認し、食事の提供時・配膳時に複数の職員で確認しています。名前入り色別トレイ、各食器に名前が書かれたラップを使用しています。食事は定位置を決め、職員が付きそい、誤食を防いでいます。
- ・障がい児受け入れの場合には、障がいの特性を考慮し、個別指導計画を作っています。大和市保育家庭課の臨床心理士や作業療法士の巡回相談で助言や情報を得る体制になっています。また保護者とは常に連携を取るようになっています。
- ・虐待防止マニュアルがあります。職員は設置法人の研修を受講しています。非常勤職員には園長が機会を設けて説明し、虐待の定義について周知しています。虐待の疑いがある場合や見守りが必要な場合は園長に報告後、職員会議や昼礼で全職員に報告し、子どもの様子や保護者の様子を職員間で共有し、大和市保育家庭課、神奈川県中央児童相談所と連携をとっています。
- ・諸外国の食生活、習慣の違いなどには個別に対応し、職員は国を意識しないで、保育にあたっています。

**評価分類**

**評価の理由（コメント）**

**I-6 苦情解決体制**



「入園のしおり」に、第三者委員の氏名、連絡先及び、設置法人苦情窓口の案内を記載しています。園内には苦情解決体制や設置法人の苦情窓口、第三者委員の連絡先を掲示し、入園説明会でも保護者に説明しています。



- ・事務所前に意見箱を設置し、各行事後アンケート、個人面談やクラス懇談会などで意見・要望を聞く機会を作っています。送迎時に、クラス担当に関わらず、職員が保護者に話しかけて、意思を汲み取るよう心がけています。アンケート結果や対応については、園内に掲示し、保護者に伝えていきます。
- ・業務マニュアルに「クレーム対応」があり、職員に周知されています。日常寄せられる意見については、園長や主任に報告し、昼礼などで検討し、迅速な対応を心がけていますが、日常寄せられる意見、要望などの記録がデータとして残されていません。

<コメント・提言>

- ・日常寄せられる意見・要望なども記録・蓄積し、解決に生かして行くことが期待されます。



## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に0歳児は子どもの月齢や個人差による発達度合の差異が大きいので、幅広い玩具や絵本を用意して子どもの発達度合や興味に合わせて職員が取り出し子どもに選択させています。1、2歳児クラスでは、子どもたちが自由に取り出せるように、手が届く高さの棚に絵本や玩具を置いています。</li> <li>・手づくり玩具を含む様々な玩具を用意し、気に入った玩具を見つけてマットの上でごっこ遊びや、一人遊びができるようにしています。</li> <li>・園庭やベランダがありませんが、室内のプランターで野菜を栽培したりカブトムシやクワガタを飼育したり、散歩先で見つけた動植物の名前を図鑑で調べたりすることで、子どもが動植物に興味を持つきっかけを作っています。</li> <li>・相手の気持ちを察したり、自分の気持ちを言葉で表現することができない乳児の間では、玩具をめぐるトラブルが度々発生しますが、職員は他児が使っている玩具で遊びたいという気持ちを受け止めた上で、順番を待ったり、「貸して」と声を掛けることを徐々に知らせています。</li> <li>・園庭がありませんが雨の日以外は隣接する、やまと公園に積極的に出かけて遊び、雨の日は室内で巧技台やマットを使用して全身運動ができる環境を作っています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－１ 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「様々な食べ物を見て触って味わう経験を経て自ら進んで食べる」ことを離乳食期の保育課程に掲げ、野菜スティックを握るなど手づかみの体験やトウモロコシの皮むきなどを通じて食べる意欲を育てています。</li> <li>・「ハロウィンランチ」などの行事食や「松かさ焼」や「田作り」など季節感のある献立や楽しい盛り付けをした食事を提供しています。</li> <li>・調理担当者が給食の残量を記録し、毎月1回、園長、主任、調理担当者、各クラスから1名の担任が参加して給食会議を開催し、検討し合って、刻み方など調理上の工夫や味付けを濃い目にするなどの工夫をしています。</li> <li>・年1回、給食試食会を開催し、保護者は子どもの1食分を試食し、栄養士が好き嫌いや食べ遊びをなくす方法などを保護者に説明し質問を受けています。栄養士は離乳食や食事全般に対する相談を随時受け付けています。</li> <li>・午睡は強要しませんが、休息は大切であるので、眠れない子どもも横になり、職員が傍について見守っています。早く目覚めてしまった子どもは、横になったまま身体を休めたり、絵本を読んで過ごしています。</li> <li>・一クラスの人数が多く、発達が早い子どもや遅い子どもがいるのでトイレトレーニングは保護者と相談しながら個別に開始しています。</li> </ul>

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



・健康管理マニュアルに基づき、一人一人の健康状態を把握し、既往歴、予防接種状況などとともに健康記録票に記載し、個人別にファイルし保管しています。毎朝の子どもの観察を丹念に実施し、保護者から保育連絡ノートや口頭で子どもの体調を確認しています。昼礼時には子どもの体調について職員間で情報を共有しています。

・健康診断を年間2回行い、子ども一人一人の健康診断および毎年の歯科健診の結果を「健康記録票」に記載し個人別ファイルに保管しています。健康診断実施後に嘱託医に気になること及びその対応策を聞いて保護者に伝達しています。

・感染症対応マニュアルがあり、毎年、園長会で検討後に設置法人が改訂しています。入園のご案内に、感染症対応に関する事項を記載し、入園説明会および年度初めの保護者会で登園停止基準や保育中に感染症が発症した際の対応ルールを保護者に伝えています。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



・保育園衛生マニュアルがあり、施設、設備、玩具などの清掃・消毒方法などが記載されています。遅番の職員が清掃を行い、清掃チェック表に記入します。また、職員は就業前に各自の健康・衛生状態を衛生チェック表に記入してから業務に着手しています。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



・安全管理マニュアルがあり、園内研修や職員会議で周知しています。地震を想定して、書棚などの下には耐震マットを敷き、転倒を防止しています。棚の上に物を置く場合には、下に滑り止めシートを敷いています。全員の防災頭巾と1、2歳児の避難靴を用意し、廊下で避難準備ができるようにしています。

・年間避難訓練計画を作成し、毎月、地震・火災を想定して「119番通報訓練」や「避難訓練」を実施しています。地域内行政機関、医療機関一覧を事務所に掲示し、何時でも連絡できるようにしています。また、園携帯電話にメールアドレスを登録した保護者へのメール配信システム機能があります。

・受診が必要な事故やケガは、園長が保護者に報告するとともに設置法人や大和市保育家庭課に報告しています。小さなケガでも園長に報告し保育日誌に記録し、保護者には必ず口頭で報告することにしてしています。事故やケガについては職員会議や昼礼で報告し、アクシデントレポートに記録し、設置法人にも直ちに報告した後に原因を探り再発防止策を検討し実行しています。また、事故に至らなかった事項でも必要に応じてヒヤリハットに記録して、昼礼で報告し改善策を検討し周知しています。

・玄関は電子錠で施錠されており、来園者の顔を確認してから解錠し、不審者の侵入を防止しています。警備会社と契約して、防犯カメラ、通報ベルを設置するなど緊急通報体制を確立しています。合言葉を職員間で決めて不審者の侵入に備えています。

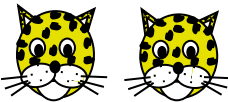
<工夫事例>

・事務所内には119番通報要領や災害時の対応要領を掲示しているほか、玄関ロビーの下駄箱の横には散歩の行先表示があり、園内外に何時でも連絡できるようにしています。

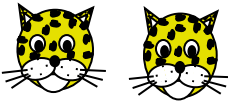

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>II-3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は「子どもの声を聞く保育」を目指しており、職員が次の行動に移る前に、子どもの要求や訴えに耳を傾け、子どもの気持ちを受け止めてから次の対応を図ることを指導しています。注意をする場合にも子どもの気持ちを受け止め、子どもの自尊心を傷つけないように配慮していますが、十分とは言えない部分もあります。</li> <li>・設置法人が作成した個人情報管理規程の個人情報の定義、保管対象書類、保管期間などについて全職員に周知徹底を図っています。職員会議の議事録に「気になる子どもの様子」を記載する際にも個人名に代えてイニシャルで記載しています。</li> <li>・子どもは男女を問わず人形遊びや車あそびを楽しんでおり、職員は遊びや持ち物、服装などに関して、男女の固定概念を持ち込まないようにしています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの対応や声などが気になるという保護者の意見も見受けられますので、尚一層注意し合うことが望まれます。</li> </ul>
<p>II-4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園目標を4月の園だより、ホームページに掲載し、玄関ロビーに掲示し、保育方針が理解されるよう努めており、行事の後にアンケートを実施していますが、保育方針が理解されているかどうかの把握には至っていません。</li> <li>・職員は登園時に子どもの家庭での様子を聞き、降園時には園での子どもの様子やエピソードを伝えており、年間2回、保護者の都合を聞いて定期的な個別面談を実施しているほか、希望があれば随時個別面談に対応しています。</li> <li>・気になる子どもの個人別ファイルの中に「個別面談記録」があり、相談内容を記録・保管し、必要に応じて職員会議で対応策を検討し、継続的なフォローを実施しています。</li> <li>・玄関ロビーや廊下や保育室に子どもの作品や日々の園生活の写真などを数多く掲示し、保育の様子を保護者に伝えています。</li> <li>・スポーツフェスタ（運動会）やクリスマス発表会などの行事の際に親子でゲームを楽しむなどの保育参加を実施しています。保育参観は年間1回、2週間の期間を設定して実施することで、保護者の都合がよい日に参観してもらっています。参観設定期間以外に、保護者の希望による参観や、保育参加の機会はとくに設けていません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事後のアンケートを活用するなど、保護者に保育方針が理解されているかどうか把握すること望まれます。</li> <li>・子育てに慣れていない乳児の保護者のために、保護者が希望する時は、保育参観や保育参加を随時、積極的に受け入れることが望まれます。</li> </ul>




## 評価領域Ⅲ 地域支援機能


評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<p>・地域の子育て支援として、一時保育を提供しており約70人が登録し、常時利用者が5、6人います。利用は予約受けのほかに、緊急性のある場合はいつでも受け入れています。食事、睡眠は「一時保育室」で過ごし、活動は各年齢のクラスに入っています。</p> <p>・園長が大和市の園長会議に年2回出席し、情報交換しています。また年1回開催される「やまと子育て応援フェスタ」の事前打ち合わせに園長が3回程度出席し、情報交換をしています。</p> <p>・地域の子育て支援ニーズについて、今年度は職員間で充分話し合う機会が作れませんでした。また毎月第三木曜日に相談日を設けていますが、見学者からの相談のみで、地域住民からの相談利用がほとんどありません。</p> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <p>・「育児相談のお知らせ」を園玄関以外に、掲示したり、一時保育利用者や「ぼかぼかひろば」参加者からの口コミなどで、相談者が増えることが期待されます。</p>


## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<p>・スーパーの2階にある保育園なので、園の通路側にポスターを掲示して情報提供をしていますが、通路には園関係者以外の人通りがほとんど見受けられません。</p> <p>・大和市立草柳保育園の園庭開放や人形劇に参加して子どもたちとの交流を図ったり、泉の森公園への散歩の途中で厚木飛行場を遠望したり、トンネルを出入りする相鉄電車を見たりしています。大和消防署に立ち寄って消防自動車の見学をさせてもらったり、大和市立図書館の絵本コーナーの見学をしています。</p> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <p>・入居しているビルの入り口に園のポスターを掲示するなど、園外に向けて積極的に情報の提供・発信をすることが望まれます。</p>
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<p>・大和市主催の「やまと子育て応援フェスタ」に園紹介のパネルを展示したり、大和市子育て支援センターや大和市保健福祉センターに当園のパンフレットを置いたり、ホームページに園の情報を掲載して、園情報の提供に努めています。</p> <p>・利用希望者から電話があった際に、園見学ができることを伝えています。</p> <p>・園見学の時間帯については、子どもが園内にいる時間帯を中心に保育内容を見てもらいながら、案内し、見学の日程は見学希望者の都合にできる限り合わせています。</p> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <p>・利用希望者は、いつでも園見学ができることを、パンフレットやホームページに掲載することが望まれます。</p>

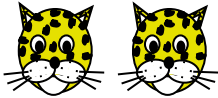
## 評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-1 職員の人材育成</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材構成はクラス編成や勤務時間帯、経験年数などを園長が考慮し、常勤・非常勤職員を組み合わせるなどし、必要な場合は設置法人より逐次補充が行われています。</li> <li>・経験年数に応じ階層ごとに人材の育成として、社内研修を充実させています。「自己査定シート」は新人、中堅、主任、園長などに応じた書式で、人材育成計画を反映させたものとなっています。</li> <li>・設置法人本部は年間研修計画を作成し、職員は「個人別年間研修計画」を立て研修に参加しています。</li> <li>・業務については、経験年数・勤務時間などを考慮しています。クラス担任をもっている非常勤職員もいます。内外の研修には非常勤職員も参加できる体制になっています。内部研修として、感染症、衛生、アレルギーなどをテーマに行い、非常勤職員も積極的に参加しています。</li> </ul>

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-2 職員の技術の向上</b></p> 	<p>年に2回の自己査定を行っています。年に一度、第三者評価を通じ自己評価を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画・月案・週案にはそれぞれ評価反省の記入欄があり、個別案や成長発達の記録は定型化された書式となっています。</li> <li>・子どもの育ちや意欲、活動に取り組む過程を重視して、振り返りを行うように心がけています。場合により園長が書き方や視点を助言・指導しています。</li> <li>・各クラスで指導計画の評価反省を踏まえ、次の週、月の計画を立てています。職員会議で、月案、年間計画についての話し合いが行われています。職員会議、第三者評価の取り組みの話し合いの中で園としての課題を明らかにするよう努めています。課題は中長期計画に盛り込んでいますが、保育所としての自己評価の公表は充分とは言えません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の自己評価の結果から、保育園の課題などを明らかにしていますので、保育園としての自己評価を工夫して公表することが期待されます。</li> </ul>

<p><b>V-3 職員のモチベーションの維持</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回実施の「自己査定票」に、経験・能力に応じた役割水準が明文化されています。また園の「職務分担表」に、それぞれの役割水準が明文化されています。</li> <li>・職員からは職員会議、園長との面談、昼礼などで改善提案を募るほかに、日常的な会話からも要望や意見を募っています。常日頃から話がしやすいように心がけています。非常勤職員とは、日常業務の中から要望など聞き取るようにしています。</li> </ul>
---	---

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>VI-1 経営における社会的責任</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務マニュアルの「就業規則」で職員の守るべき倫理・服務規程を明文化し全職員に周知しています。入社時には全職員が研修を受けています。設置法人本部にコンプライアンス委員会が設置されており、直接連絡できる仕組みがあり、連絡先は事務所及び職員更衣室に掲示してあります。</li> <li>・設置法人のホームページ上に決算書、運営状況についてを公開しています。</li> <li>・設置法人園長会や大和市園長会で得た、他施設での不適切事例などは、職員会議や昼礼で取り上げ、話し合いをしています。</li> <li>・ゴミ減量化、リサイクル分別を徹底しています。牛乳パック、トレイなどを利用し、手づくりおもちゃや製作に利用しています。</li> <li>・節電に努め、「電力チェック表」を使用しています。</li> <li>・環境への考え方、取り組みについて特に明文化されたものはありません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した考え方や取り組みが、園の運営方針として明文化されることが期待されます。</li> </ul>
<p><b>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念・基本方針を事務室に掲示しています。園目標を玄関に掲示しています。園長は年2回常勤職員と面接をして、理念・基本方針が理解できているか確認するようにしています。</li> <li>・行事、保育内容、職員体制の変更などは職員会議、昼礼で職員に説明しています。保護者には「クラス懇談会」で説明したり、園だよりに記載し配付したり、園内に内容の説明の掲示をしています。また1、2歳児クラスから保護者による「運営委員」を設けており、何かあれば意見交換する仕組みがあります。</li> <li>・主任は各クラスを見回り、個々の職員の業務状況を把握し、シフト編成、保育士配置を行っています。必要に応じて、クラスに入り個々の職員の様子を見ながら、指導・助言を行っています。また常に職員に声を掛け、話を良く聞いてコミュニケーションを取りようにし、職員の心身の状態に気を配っています。</li> <li>・園長は一年に一度職員会議で理念や基本方針に基づいた保育が実践されているかについての話をしていますが全職員に周知するには十分ではありません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念・基本方針を全職員に周知し、確認する機会を得ることが期待されます。</li> </ul>
<p><b>VI-3 効率的な運営</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営に影響のある情報は設置法人で収集、分析しています。園長は設置法人の園長会議や大和市の行政機関から情報収集しています。平成26～28年度の中長期計画を作成しています。</li> <li>・運営、サービスプロセスの新たなしくみは設置法人で検討しています。</li> <li>・重要な情報は設置法人の園長会議、エリアマネージャー会議で話し合われ、園長が持ち帰り、職員会議で報告しています。園の改善課題については職員会議で話し合いをしています。</li> </ul>

# 利用者家族アンケート

施設名:アスク大和保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 結果の特徴

### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数62名、全保護者57家族を対象とし、回答は46家族からあり、回収率は81%でした。

### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

### ◇ 総合満足度

施設に対する総合評価は、肯定的な回答が96%(満足63%、どちらかといえば満足33%)となっており、否定的な回答は4%(どちらかといえば不満4%2名)となっています。

### ◇ 比較的満足度の高い項目

1)「施設の基本理念や基本方針の認知」の回答(よく知っている、まあ知っているの合計)は66%で、この全員が内容について賛同できると、回答しています。

2)職員の対応についての設問で、「あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるか」の回答(「満足、どちらかといえば満足」の合計)はいずれも100%で高い評価でした。

3)日常の保育内容 生活についての設問で、「お子さんが給食を楽しんでいるか」、「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか」の回答(「満足、どちらかといえば満足」の合計)はいずれも98%「給食の献立について」は同97%と高い評価でした。

4)園と保護者との連携・交流について「園の行事の開催日や時間帯への配慮について」の回答(「満足、どちらかといえば満足」の合計)は96%、「開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応」は同95%でした。

5)日常の保育内容 遊びについての設問で、「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているか」、「遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組み」の回答(「満足、どちらかといえば満足」の合計)は94%でした。

### ◇ 比較的満足度の低い項目

1)園と保護者との連携・交流について「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換について」の設問に対し、回答(「どちらかといえば不満、不満」の合計)は17%、「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について」、「お子さんに関する重要な情報の連絡体制について」は同15%ありました。

2)保育園の快適さや安全対策についての設問で、「施設設備について」の回答(「どちらかといえば不満、不満」の合計)は15%ありました。



## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	7%	59%	20%	11%	0%	3%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	80%	20%	0%	0%	0%	0%

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	70%	17%	0%	0%	11%	2%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	54%	35%	2%	0%	7%	2%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	52%	39%	0%	2%	7%	0%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	70%	24%	4%	0%	0%	2%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	65%	28%	7%	0%	0%	0%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	67%	24%	4%	0%	0%	5%
	その他:					

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	52%	39%	4%	0%	5%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	43%	48%	0%	7%	2%	0%
	その他:					

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	72%	20%	4%	0%	2%	2%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	70%	23%	7%	0%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	65%	28%	2%	0%	5%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	54%	39%	4%	0%	3%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もっているかについては	59%	35%	4%	0%	2%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	59%	35%	4%	0%	2%	0%
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	80%	17%	0%	0%	3%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	76%	22%	0%	0%	2%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	67%	20%	4%	2%	5%	2%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	57%	41%	2%	0%	0%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	26%	28%	11%	4%	27%	4%
	その他:					
お子さんの体調への気配りについて は	65%	29%	4%	2%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	50%	30%	4%	9%	7%	0%
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	50%	30%	13%	2%	3%	2%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	63%	30%	7%	0%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	65%	29%	4%	2%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	56%	34%	3%	7%	0%	0%
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	43%	39%	13%	2%	3%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	61%	28%	7%	2%	2%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	50%	46%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	52%	26%	13%	4%	5%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	54%	28%	11%	4%	3%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	50%	39%	11%	0%	0%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	78%	17%	0%	0%	5%	0%
	その他:					

### 問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	72%	22%	2%	0%	4%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	80%	20%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	72%	17%	0%	2%	9%	0%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	59%	33%	4%	2%	2%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	61%	28%	9%	2%	0%	0%
	その他:					

### 問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	63%	33%	4%	0%	0%



## 観察方式による利用者本人調査

### アスク大和保育園

#### 【0歳児】

##### <遊び> 新聞紙を使った遊び

職員が新聞紙を取り出しました。子どもたちも、手を伸ばします。バザバザという音がおもしろいようで、大きく手を動かしています。職員が、大きく破いたり、細く切り取ったり、ちぎったりしてみせると、子どもたちも真似しています。ちぎるときの音を楽しんでいるようです。細長くちぎった子どもに「上手、上手、長く切れたね。集めてみよう」と職員が声をかけます。子どもは何枚か集めて手に握ると、「ひらひら～」と職員と一緒に、ゆすったりして楽しんでいます。細かくちぎった子どもに「細かくできたね。すごいね。なんだろうね。雪かな」と、職員が上に放り投げてみます。子どもも一緒に投げて、にこにこしています。「雪だ、雪だ、今日雪が降っているからね」と職員が言うと、子どもの一人が窓を指差します。「そうよねー。雪降ってるよね」と職員が言うと、また指差して調査員にも、教えてくれます。ちぎった新聞紙の上を腹這いになって、滑って見たり、職員の膝にのってみたり、抱っこしてもらったり、友だちの洋服についての新聞紙の破片を1枚1枚、つまんでいる子どもなどもいて、みな楽しそうです。

##### <授乳・食事>

職員が「お食事にするから手を洗おうね」と遊びの場から、扉で仕切られた食事の場に、手を引いたり、抱っこしたりして移動します。自分で手を洗える子どもは、「せっけんつけようね」と職員に声掛けされると、一生懸命洗っています。職員に手伝ってもらって洗う子どももいます。月齢が低い子どもは、職員が抱っこしたままで、手伝ってもらいながら、一緒に洗います。

食物アレルギーがある子どもは、少し離れた席で、職員が一人付いています。一番初めに、ほかの職員とチェックをしながら、食事提供をしています。子どもたちはスタイをつけてもらい、しっかり椅子に腰かけます。給食の歌や挨拶を皆でした後、職員が「きょうのお献立はパン、スープ、おさかな、サラダです」と説明しています。子どもたちはパンを上手にちぎって食べています。「お魚もっと小さくしょうか？」と職員が細かくしてスプーンに乗せると上手に食べています。「偉い、偉い、お魚一杯食べてるね」「お野菜モリモリ食べてね」「おいしいね」「○ちゃん人参おいしいよ」と職員が、見守りながらも声掛

けをしています。手づかみになってしまっても、「偉いね。自分でどんどん食べられるね」と言われて、大きく口を動かしています。全部食べてしまった子どもが、物足りなそうにしているときは「お代わりしますか？お代わりちょうだいな」と言おうね」と職員が言うと、身振りも交えて、首を振りながら職員に呼びかけています。「すごいねー、どんどん大きくなるね」と言われて嬉しそうです。食後、自分で皿やコップを重ねている子に、「どうもありがとうね」と職員が声をかけています。

途中で眠くなってしまった子どもには、早めに布団を用意してから、抱っこして、哺乳瓶で授乳していました。

### <食後～着替え>

食事の場から再び遊びのスペースに戻り、パジャマに着替えます。一人一人のおむつと着替えが一緒にまとめられて用意されています。職員が「〇ちゃん、どれが自分のか分かるかな」と声掛けすると、自分で持ってきます。

どの子ども間違えることなく、自分で運んできます。パンツ型のオムツかえも、様子を見ながら、さりげなく、着替え時に職員が替えていました。(特にオムツかえ用のスペースや、マット類などは使用していません) 子どもたちは自分でパンツ型オムツを引き上げていました。

## 【1歳児】

### <遊び>

シートを敷いたコーナーで子どもたちは、ブロック遊びやままごと遊びをしています。職員がプラレールを組み立てると、子どもたちは、各自、好みの電車のおもちゃを手にとって鉄橋やロータリーが付いているレールの上を走らせます。友達が使っていた電車を、横から取ってしまった子どもに、「今△ちゃんが使っていたんだよ。そういう時どうすればいいかな」「貸してくれる？って聞かないとね」と職員に言われると、うなずいています。「今使っている」と友達ちに言われて、がっかりしていると、ほかの子どもが、違う電車を持って来てその子に渡していました。「◇ちゃん、どうもありがとう」と職員が言うと「ありがとう」とその子も言っています。にこにこしながら、遊び始めました。

別のグループは、自動車練習場が描かれているマットの上で、コースに沿って自動車を走らせます。コースが描いていないところにも走らせる子どももいました。

自由に遊んでいるコーナーと仕切られた場所では、机に絵具や筆が準備され、子どもが二人ずつ順番に、節分に因んだ鬼の帽子を職員と一緒に製作していま

す。職員は赤と青の絵具のどっちにするかを聞いて、子どもは自分で選び大きな筆で、鬼の帽子に塗っています。一生懸命大きな筆を動かしていました。塗り終わった後は満足そうな表情です。

### <食事>

昼食開始後、汁物を盆の中に溢してしまった子どもに、気が付いた職員は「大丈夫だからね」と声掛けし、トレイをふきんで拭いてから食器を元の位置に戻し子どもは、安心した様子で、食事を続けました。

食事の途中で急に泣き声を上げた子どもがいると、職員が抱き上げて廊下に行き、暫く気分転換すると子どもは泣きやみ、保育室に戻ってテーブルの前に座ると再びスプーンを持って食事を開始しました。

### <午睡>

子どもたちの食事をしている部屋の反対側のスペースは、低い棚で仕切られ職員が部屋を暗くしてオルゴール音のCD曲を流し、布団を敷いて昼寝の準備をしています。食事が終わった子どもは水場であがいを済ませてトイレに行った後で、着替えを始めました。自分で脱いだ衣服をまとめ、袋に入れてあります。

子どもは自分の布団を見付けて横になります。仰向けになって寝込んでいる子どもや横向きに寝ている子どもが約4割います。職員は横向きに寝ている子どもの中からうつ伏せになりそうな子どもを見付けて向きを直してタオルケットをかけ直しています。

## 【2歳児】

### <朝の絵本の読み聞かせ>

「線路は続く」の絵本の読み聞かせをした後で、職員は座り、立っている子どもと目の位置を合わせて絵本の内容に関する質問をしています。子どものお気に入りの絵本だったようで、元気よく答えています。

### <朝の会>

朝の会では今日の3人のお当番の紹介をしています。職員から「お名前からいってもらいましょうね」と言われ、子どもたちは順番に自分の名前を言っています。子どもは「3人にインタビューしてみましようね」「好きな食べ物はなんですか？」などと質問されて、一人一人が、大きな声で「好きな食べ物はバナナです」「から揚げが好きです」と答えています。

### <遊び>

保育室の一角でおままごとのコーナーとブロックのコーナーに分かれて子どもたちが遊んでいます。また、別のコーナーでは、4名の子どもに1名の職員と一緒に、型に小さいパーツをはめ込むおもちゃで、真剣な表情で遊んでいます。机のコーナーでは、粘土遊びをしたり絵を描いて遊んでいます。

### <食事>

5人の子どもが前に出て「いただきます」のあいさつをしています。食物アレルギーの子どもは、皆と少し離れた場所でテーブルに向かい、職員が付き添って、ほかの子どもと異なる黄色のプレートにのせて配膳されています。給食は記名したラップをかけて子どものテーブルに配膳し、子どもは食べ始めました。

今日の献立はパンと魚のフライと野菜の煮物と汁物です。箸を使っている子どもと、フォークを使っている子どもがほぼ半分ずついます。

今日は子どもが好きな献立のようで、食事の進み具合がよく早くお代わりを求める子どもが目立ちます。

中には、なかなか食事が進まない子どもがいて、職員がおかずを切り分けたり介助をしています。職員はお代わりを盛り付けたり、子どもたちのテーブルを回り、食事の進み具合や様子を見て、言葉かけをしています。ほぼ子どもが食べ終わると職員がふきんを配り始めます。気に入ったメニューであったのか、空いた皿を指でなぞってなめて余韻を楽しんでいる子どもがいます。

## 平成 26 年度 第三者評価 事業者コメント

アスク大和保育園

### 【受審の動機】

アスク大和保育園は、開園 4 年目を迎えました。26 年度は職員の入れ替わりも多く、保護者の方にはご迷惑をお掛けしたことと思います。現在の園運営を振り返り、今後の課題を見出すために第三者評価を受審させていただきました。

開園初年度より、同じ評価機関に評価を依頼し一貫した調査を受けることで比較がしやすく、運営方針等も十分にご理解いただいた上で調査を実施していただけると感じています。今年度も、保護者のニーズを把握しながら、日々の運営に反映させていくと同時に、職員が自己・自園を見直す良いきっかけになると考え、受審いたしました。

### 【受審した結果】

今年度は、昨年度の振り返りをしつつ、昨年度にご指摘いただいた箇所を見直し、さらに工夫をしながら保育にあたってまいりましたが、第三者評価を受審する事で、見えな部分や見逃している部分に気づく事ができました。

今後の課題としては、①保護者とのコミュニケーションをより充実させることにより、園生活を理解して頂けるように努力する。②地域交流、子育て支援では、内容を検討し外へ向けてのアピールを積極的に行っていく。この 2 点を挙げ、見直し、保育に役立たせていきたいと考えています。

最後に今回の受審にあたって、ご利用者調査にご協力いただいた在園児の保護者の皆様、ご尽力頂いた評価機関の皆様に心より感謝申し上げます。

アスク大和保育園

園長 谷森 美香子